

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和2年11月10日(火) 19時00分~20時40分				
開催場所		中央公民館大会議室				
出席者	委員	23人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 中央地区の取り組むテーマについて (2) その他 3 開 会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開 会

牛尾会長から開会のあいさつをした。

### 2 議 題

#### ( 1 ) 中央地区の取り組むテーマについて

会長から資料に沿って、令和2年度の中央地区で取り組むテーマとして、前回のまりづくり会議の結果を踏まえ、令和元年度から継続している「中央地区公園プロジェクト」と、今年度のまちづくりを考える懇談会のテーマ(案)として挙げられた「コミュニティの希薄化に関する課題」、「きれいなまちづくりの推進に関する課題」を中心に3つのチームに分かれて議論することが説明された。検討内容としては、主として、地域の公園等の機能分担に関する事、自治会空白地域における情報伝達手段の確保に関する事、フリーライダー等のごみ集積所等ごみ問題に関する事を中心に話し合われ、議論後、各チームより結果報告がされた。

#### ( コミュニティの希薄化に関する課題に取り組むチーム )

- ・自治会空白地域である旧東第二自治会(相模原5丁目)を事例として、自治会等の基盤となる組織体が存在しない地域における課題について検討した。
- ・自治会のような組織体の存在しない地域における最大の課題は「そこに住む地域住民に対してあらゆる情報が十分に行き渡らない」ことであり、まずは、こうした自治会空白地域に対しても必要な情報を通わせることでコミュニティ形成のきっかけになると考える。
- ・具体的な情報伝達手段としては、行政の民間委託によるポスティングなどの意見が出た。また、将来的には電子媒体での情報伝達になるかと思うが、依然として地域の中でも世代によっては対応能力が異なることから、しばらくは紙と電子を併用して取り組みを進めていくことが望ましいと思う。
- ・今後、コミュニティ形成のきっかけとして、地域内に存在する組織体を総動員した話し合いの場を設けたい。

#### ( きれいなまちづくり )

- ・「きれいなまち」の定義として、ごみが散らかっていないこと、車いすや歩行器でも道路が歩きやすいことなどが挙げられた。
- ・ごみの問題でいえば、自治会管理のごみ集積所に自治会員以外の人が捨てている事例

が散見されるため、これを解決するにはごみ袋の有料化が効果的だと思う。

- ・ごみ袋の有料化をして、自治会員に対しては安価にごみ袋を配布すれば、自治会に対する参画意識の高揚に繋がり加入率向上にも寄与するものとする。
- ・西門のようにごみ集積所の問題が多くみられる事例がある一方で、自治会加入率が高い地域やマンションなどで個別に設置された専用の集積所があるところは特段大きな問題は生じていないという意見も出た。
- ・議論の結果として、要求、要望の多いものとなったが、今後はごみ袋の有料化に向けた運動の方針などを決めることも一つの進め方だと思う。

(中央地区公園プロジェクト)

- ・チーム目標としては「一つの街区公園だけで全て完結させるのではなく、地区の資源を全体として活用し、相互に機能を補完することで、地区全体で理想の居場所を確保していく」と設定した。具体的にいえば、現状、どの公園も平等に同じような遊具などが設置されているが、そうではなく、それぞれの公園や地域の特性や特徴、あるいは実情に応じて機能などを再編成し、地区全体で公園を利活用しやすい体制を整えていこうとする試みである。
- ・現状の課題としては、子どもが思い切り遊べる場が減少していること、利用者のマナー悪化に関すること、高齢者用の健康器具の不足に関することの3点が挙げられた。
- ・公園利用者のマナー違反についてのクレームは、公園課やふれあい広場管理委員会事務局等に届いていることは承知している。これについては、利用者に対してルールの周知徹底が図られていないことが原因と推測されるため、今後、直近でできるものとして、利用者に対する利用ルールの周知徹底を図っていきたい。
- ・富士見小学校の校庭開放に関しては、現状、特に定まったルールや見守りがされているわけではなく開放されているが、たとえば、今後これがきちんとしたルールの基に現場監督者が存在すればオフィシャルに利用させてもらえるのか、また、校庭開放の利用については市なりの保険の適用になるのかという点について、次回会議までに富士見小学校PTAの佐藤委員を中心に確認を行うことに決まった。
- ・高齢者用器具については、設置を希望する公園や器具の種類などをチーム内で検討して、市に提案したいと考えている。
- ・今後のスケジュールとしては、まず富士見小学校の校庭開放について現状確認し、また、公園利用に関する地域住民からのクレーム及び器具設置や入れ替えに関する手続きやルールを公園課に確認を行っていきたい。

主な意見・質疑

- ごみ袋の有料化については、これまでも度々議論に挙がっているが、実際市の認識としてはこれを推進していく方向でいるのか。

○私も以前に市に対して同様の質問をしたことがあるが、現段階では特段検討はしていないようである。ただ、様々な視点から有料化の必要性について地域意見をまとめた上で、提案することには意味があることだと感じる。個人的な意見だが、有料化することで財源も確保でき、道路整備などにも予算が充てられると思うのでいい案だと感じている。

○私が市から聞いた話としては、有料化について前向きではあるが、ごみの収集頻度が減ったことで、結果としてごみ排出量が減少傾向にあるため、引き続き、排出量の減少に取り組んでいきたいとのことだった。このため、私からはそれとは別の観点から考えて有料化が必要だと説明した経緯がある。したがって、決して取り組む意思がない訳ではないため、上記の見解とはニュアンスが異なる。

○3つのテーマに分かれてそれぞれ議論することについては賛成だが、これとは別に一つ提案で、せっかく地域の各団体の長が一堂に集まっているので、毎回それぞれの団体等が有する課題などを持ち寄って、それを全体で議論してみてもどうかと思う。たとえば、この前の会議で挙げられた児童の登下校時の問題など、各団体の知恵を出し合えば解決できることもあるかと思う。また、もう一点として、今年は新型コロナウイルスの影響で開催できなかった地域活性化事業交付金事業報告会で予定されていたシビックプライドに関する勉強会をどこかのタイミングで実施することを検討していただきたい。

(2) その他  
特になし。

3 閉 会

以 上

## 第3回中央地区まちづくり会議(11月10日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一		中央地区自治会連合会	出席
2	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
3	徳田 文夫		中央地区社会福祉協議会	出席
4	根岸 泰子		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
5	八木 憲哉		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	大沼 眞作		中央地区老人クラブ連合会	欠席
7	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
8	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
9	東使 敏二		中央地区防犯協会	出席
10	守屋 守		交通安全協会	出席
11	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
12	松本 勇作		中央小学校PTA	欠席
13	梅林 巖		弥栄小学校PTA	出席
14	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
15	岡本 和茂		中央公民館	出席
16	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
17	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
18	秋葉 秀二		公募委員	出席
19	井之上 久		公募委員	出席
20	倉澤 良明		公募委員	出席
21	小澤 隆宏		公募委員	出席
22	瀬川 晴三		公募委員	出席
23	高橋 征彦		公募委員	出席
24	鳥海 千秋		公募委員	出席
25	中里 良治		公募委員	出席